

# Press Release



<<報道資料>>

2012 年 10 月 11 日

日本コンピュウェア株式会社

## 業界初となる z/OS アプリケーション用の ディープなトランザクション管理ソリューションにより、 メインフレームの可視化をさらに進展

**Compuware APM for Mainframe により、  
インターネットのエッジからメインフレームに至るまで、  
24 時間 365 日リアルタイム、エンドツーエンドのトランザクショントレースが可能に**

※当資料は、コンピュウェア コーポレーションが米国時間2012年10月9日に発表した報道資料の抄訳です。

米国ミシガン州デトロイト - 2012 年 10 月 9 日発表 - コンピュウェア コーポレーション (NASDAQ: CPWR) は、本日、インターネットのエッジからメインフレームに至るまでのディープなトランザクション管理を可能にした、業界初にして唯一のソリューション、Compuware APM for Mainframe を発表しました。Compuware dynaTrace の特許取得済み PurePath テクノロジーと Compuware Strobe の比類なきメインフレームアプリケーション管理技術を組み合わせることにより、分散型システムとメインフレームのチームは、パフォーマンスの問題をより迅速に解決し、MIPS コストを削減し、ハードウェアのアップグレードサイクルを延長させ、新しいアプリケーションの本番投入までの期間を加速させることができるようになりました。

Compuware APM for Mainframe は 2 つのバージョンで提供します：

**PurePath for z/OS CICS:** CICS 領域あるいは CICSplex 内の CICS アプリケーションのトランザクション監視用

**PurePath for z/OS Java:** メインフレーム Java アプリケーション監視用

ガートナー社のリサーチディレクターである Jonah Kowall 氏は次のように述べています。

「モバイル、タブレットなどの新しいインターフェースを通じた利用を想定して、アプリケーションが成熟度を増している中、多くの企業がなおも、これらのトランザクションに関しては実証済みのメインフレームの

処理に頼っているのが実情です。別々の階層にまたがるトランザクションの選別と追跡は困難な課題であり、階層ごとに、担当組織、監視方法、ツールの所有権が異なる現状では、解決することができません。そのため、トランザクションがメインフレームリソースやアプリケーションパフォーマンスに与える影響も測りがたくなっているのです」

PurePath for z/OS はメインフレームアプリケーションをかつてないほどに可視化し、以下のような様々な手法により、複雑さを解消します。

## **エッジからメインフレーム CICS と Java プロシージャにいたるまでのディープなトランザクション管理**

メインフレーム CICS と Java トランザクションのすべてのステップとタイミングにおいて、分散された階層とメインフレームアプリケーションにおけるあらゆるトランザクションを自動的に発見、マッピング、監視

### **メインフレーム CPU の MIPS 節減**

トランザクションの要求を最適化し、アプリケーションパフォーマンスの効率を高めることにより、コストのかかるメインフレームのアップグレードのサイクルを延長、あるいは不要とすることが可能

### **ゼロコンフィギュレーション計装**

導入後設定なしでご利用いただけるダッシュボードで、メインフレームトランザクションの 100%ディープな可視化と自動検索、トランザクションマッピングが可能となり、コード変換が不要で、導入と管理も簡単

### **ワンクリックによるホットスポット分析**

高度分散型でロングランのジョブを含む、ワンクリックによるメインフレームアプリケーションのホットスポット分析により、MTTR(解決に要する平均時間)が短縮。従来は数時間あるいは数日を要していた根本原因の解明が数分で可能に

### **ワンクリックによる Strobe 計測要求**

Strobe により、プロファイリング用メインフレーム WebSphere Application Server、WebSphere MQ、Message Broker、Enterprise Service Bus (ESB)、CICS、IMS、Batch、DB2、CTG、JMS、Web Services、Cobol、PL/I の分析と報告が実現

コンピュータの最高経営責任者である Bob Paul は次のように述べています。

「銀行、旅行業、小売業などで、メインフレームにおけるリアルタイムシステムのサポートへの要求が高まっている中、かつては見られなかった深刻な問題が業界全体レベルで表面化しています。企業がメインフレームに多大なパフォーマンス圧力をかけるようなモバイル、Web、ビジネスアプリケーションを使用する場合、分散された階層からメインフレームに深く浸透するトランザクションを追跡できなくなるのです。Compuware APM for Mainframe の登場により、メインフレームに至るまでの、かつてなかったほどにディープなトランザクション管理が可能となりました。この革新的で類を見ないメインフレーム用新世代 APM の提供により、APM に関するコンピュータの優位性と競争力は更に高まるでしょう」

Compuware APM for Mainframe は、どのプロシージャのステップが完遂までに長い時間を要しているか見極めるタイミングを含めて、メインフレームのトランザクションプロシージャをすべてマッピングします。エンドユーザーのブラウザから Web サーバーやアプリケーションサーバー、メッセージブローカーから CICS、さらにはデータベースに至るまで、すべての階層を可視化するため、オペレータは問題の根本原因を即時に把握でき、重大な事態に進展する前に問題を解決できます。

世界最大級の保険会社のパフォーマンス・安定性担当役員である Sean O'Neil 氏は、次のように述べています。

「我々が扱うアプリケーションデリバリーチェーンは非常に複雑で、様々なロケーションに複数の階層が存在するため、パフォーマンスの問題の解明が困難であり、会議では責任転嫁の応酬が繰り返されることがあります。コンピュータの新しい PurePath for z/OS ソリューションなら、いくつにも分散された階層あるいはメインフレームでも、エンドユーザーのビジネスランザクションをリアルタイム、24 時間年中無休で追跡できます。各層で反復され問題を起こしているコールを実際に目で確認して、顧客に損害を与える前に修復できるようになったのです。PurePath z/OS がなければ数カ月を要する作業が、わずか数時間でできるようになりました」

Compuware APMは、Web、非Web、モバイル、ストリーミング、クラウドアプリケーションといった様々なアプリケーションのパフォーマンス最適化を実現する業界屈指のソリューションです。エンドユーザー体感に基づき、ユーザーが利用するブラウザから、クラウドを通じてデータセンターにいたる、アプリケーションデリバリーチェーン全体の統一ビューを提供します。

コンピュータは、全世界で4,000以上の顧客企業が存在し、Gartner『*Magic Quadrant for Application Performance Monitoring (APM)*』において、「リーダー」に位置づけられています。詳しい報告書はこちらから参照できます：<http://bit.ly/q5jKi7>（英文のみ）

コンピュータは、Twitter、Youtube、Facebook からも情報を配信しています。

- ・<http://twitter.com/compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・[http://twitter.com/compuware\\_japan](http://twitter.com/compuware_japan)（日本コンピュータアカウント：日本語）
- ・<http://www.youtube.com/user/Compuware>（米国本社アカウント：英語）
- ・<http://www.facebook.com/Compuware>（米国本社アカウント：英語）

## ■ コンピュータコーポレーションについて

コンピュータは、‘The Technology Performance Company’として、IT が問題なく稼働し、ビジネスに貢献するための、ソフトウェア、エキスパート、ベストプラクティスを提供します。コンピュータのソリューションは、全世界のリーディングカンパニーが IT を最大限活用できるように支援しています。これらのリーディングカンパニーには、フォーチュン 500 上位 50 社のうち 46 社や、米国の Web サイト企業上位 20 社のうち 12 社が含まれています。

- ・米コンピュータコーポレーション <http://www.compuware.com>（英文）
- ・日本コンピュータ株式会社 <http://compuware.co.jp/>

## ■ お問い合わせ先

・報道関係の方

日本コンピュータ株式会社広報事務局 (株式会社ジャパン・カウンセラーズ内)

TEL: 03-3523-8210、Email: [compuware@jc-inc.co.jp](mailto:compuware@jc-inc.co.jp)

・Compuware APM ソリューションをご検討の方

日本コンピュータ株式会社営業部代表

TEL: 03-5473-4531、Email: [marketingjapan@compuware.com](mailto:marketingjapan@compuware.com)

※記載されているすべての製品名および会社名は各所有者の商標です。